

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1130 NO50

校長 伊波喜一

現実と理想(ゆめ)の間を 仲間たち 心一つに 創りあげなん

学芸会が終わった。「夢の世界をみんなで創りあげよう 江古田劇場2017」と銘打ち、1年から6年がそれぞれに合った演目を演じていて、引き込まれた。運動会終了から一ト月弱で、よくここまで仕上げたものだと感心する。6年の人間になりたがった猫で歌われるすてきな友達の歌詞に「悲しい時も仲間がいればつらくはない。苦しい時も仲間がいればつらくはない」「愛と仲間さえあればつらくはない」とある。子ども達は、これから現実世界を生きていく。その現実には、必ずしも理想のようにはいかない。厳しい現実を前に、落胆もするだろう。その時こそ、子ども達がこの詩の意味を血肉化する絶好の機会となる。またその時こそ、仲間や愛という普遍的な価値を反芻する時となろう。人は理想を持つことで、現実の厳しさに耐え、乗り越えていける。その理想の種子を心に灯した江古田の子達は、幸せである。指導いただいた先生方、支えてくださった職員の皆様、そして見守り育ててくださった保護者や地域の皆様に、改めて感謝の意を表したい。有難うございました！